

国際バカロレアによる

瓜 中 改 革



鹿追町立瓜幕中学校

IB 通信 NO.1

文責 穠山 昂弘

発行日 R5/11/10

IB 通信とは

みなさまこんにちは。瓜幕中学校、国際バカロレア（IB）コーディネーターを務めさせていただいております、穠山昂弘（あきやまたかひろ）と申します。今年度の4月に国際バカロレアの候補校となって早7ヶ月、これまで教職員一丸となって研修に取り組んで参りました。不透明なことが多く、保護者の皆様にはこうして情報発信できることが遅くなってしまい誠に申し訳ありません。

この7ヶ月、様々な情報機関や IB 認定校などからアドバイスをいただいたことをもとに、保護者の皆様へ向けて情報提供を行う場として IB 通信を発行させていただくことにしました。一読していただき、瓜幕中学校の取り組みに関心をもってもらえれば幸いです。

国際バカロレアとは



本部をジュネーブに定めて国際的な教育プログラムを提供しているのが国際バカロレア機構です。International Baccalaureate の略称で IB と呼ばれています。世界の複雑さを理解したうえで、責任のある行動や態度を取れる生徒を育成することを目的としています。国際バカロレア機構の使命は、**多様な文化の理解と尊重の精神によって平和な世界を築く**ことです。そのために、探究心・知識・思いやりに溢れた若者を育成する教育プログラムを推進しています。

世界各国で学ぶ児童に対して、それぞれの人間の持つ考え方の違いを認められるように配慮されており、積極的に、そして共感する心をもって**生涯にわたって学び続ける**よう働きかけられているのが、そのプログラムの特徴です。このねらいを実現するために、学校や政府をはじめ国際機関と協力しながら、厳格な評価方法やチャレンジ精神に溢れたプログラムの開発に挑戦しています。

また、IBでは価値を置く人間性を10の学習者像として表しています。

探究する人、知識のある人、考える人、コミュニケーションができる人、信念をもつ人、心を開く人、思いやりのある人、挑戦する人、バランスのとれた人、振り返りのできる人です。

こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任のある一員となることに資すると考えられています。

IB コーディネーターとは

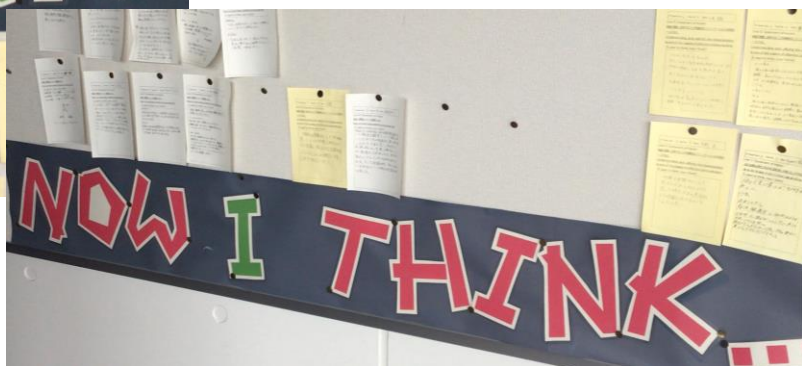
IB コーディネーターは、本校に IB プログラムを導入するために IB 教育のすべての活動に対してリーダーシップをとる立場です。また、IB 機構とのやり取り、教育委員会・鹿追中学校との連携、コンサルタントとのミーティングなど、認定に向けた準備を中心となって行っています。

私が大切にしていきたいことは、先ほどにもあった IB の理念を、教職員・生徒、そして保護者の皆様と共通理解を図っていけるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

これまでの取り組みとは

候補校申請が通ってからIB機構とやり取りを行い、本校が認定を受けるまでのサポートをして下さる（コンサルタント）広島県立広島叡智学園中学・高等学校の古市吉洋主幹教諭を紹介していただき、これまで10回ほどZoomでミーティングを行い、認定に向けてのご教授をしていただいているところです。古市先生とは直接お会いしたことはありませんが、常に本校の状況を踏まえながら丁寧に指導して下さるのでとても助けられています。

まず、6月に教頭・中村・稲山で北海道唯一の公立IB校である札幌市立開成中等教育学校を視察してきました。IB校になるための組織作りや研修の持ち方のお話に加え、校舎内を見学させていただき、あらゆるところに斬新な取り組みを見ることができました。7月には岩城・折田・木村で2回目を、9月には岩城・三浦で3回目の視察にそれぞれ行ってもらいました。各教科担任と面談をしたり、公開授業を参観したりと、充実したIB研修になったようです。



7月31日には、本校の教職員全員がIBについてのスタートを切るための研修（ワークショップ）が行われました。ワークショップリーダーの静岡聖光学院中学・高等学校 熊澤ほづみ教諭をお招きし、IBの理念や単元計画の作成の仕方を研修しました。

8月8日～10日は、廣部が仙台で教科のワークショップを受講してきました。内容の濃い3日間だったようです。次年度は、各教科1人ずつこのワークショップを受ける予定です。

9月11日には、同じくIB候補校の鹿追中学校と全体会を開き、今後の流れの確認、教科部会の設定を行いました。本校はどの教科も1人ずつのため、悩みなどを共有できる場ができたことが良かったです。10月10日も同様に全体会を開き、単元の指導計画の作成（通称；ユニットプランナー）を行い、後期までに授業実践に取り組めるよう努力しているところです！

認定を受けるとは

認定を受けるには確認訪問とよばれる審査をクリアしなければなりません。資料の提出に加え、教職員、生徒、保護者との面談もあるようです。この模擬訪問として、コンサルタントの古市先生が事前に本校を訪問し認定に必要なことをアドバイスしてくださいます。コンサル訪問は令和6年8月ごろを予定しています。したがって、4月から本格的なIBの授業を展開していく必要があるため私たちはその準備に取り組んでいるところです。これは余談ですが、瓜幕中学校がIB認定校として認定された場合、IB校の中で最も小規模な学校になるようです。

まだまだ、お伝えしたいことはありますし、皆様が気になる部分もあるかと思いますが、さしあたって本校の状況を載せさせていただきましたので、次号でもう少し詳しくお知らせしていきます。今後ともよろしく願いいたします。